

平成20年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

2008年3月31日

平成20年度の事業運営の基本方針（1）

I. アルコール事業

平成19年8月に策定した中期経営計画達成のため、「販売力の強化」と「コスト競争力の強化」を全社一丸となり推進します。
「安心」してお使いいただける商品を「安定供給」し、安定利益の得られるアルコール事業の事業基盤を構築するため、12万～15万KLの販売目標を掲げ取組みます。

経営基盤の整備

1. 事業運営の効率化

- 引続き生産体制の整備を進め、事業運営の効率化を図ります
- 製造管理技術の確立と運転技術力の向上により製造コスト低減に努めます
- 原料粗留アルコール購入は、中期契約とスポット契約方式を適切に併用し安定かつ安価に調達します

平成20年度の事業運営の基本方針（2）

2. 販売・製造・品質管理

販売計画

- 販売・製造数量は12～15万KLを目指します
- 特約店経由での販売をベースとし直接販売の拡大、新規分野への参入アプローチを行います
- 製販一体となった取組みにより、お客様へのアプローチを展開し販売力の強化を進めます

販売製品

- カスタマーニーズを把握し、お客様の期待に応えた新製品の開発と付加価値・差別化の取組みを行います
- 基本製品構成：95度1級 99度1級 95度特級

品質管理

- 品質管理を徹底し、安全で安心な商品を提供します
- 製造管理技術の確立と運転技術力の向上により、製品品質の安定化を進めます
- 技術開発に取組みアルコールに関する分析技術を向上します

平成20年度の事業運営の基本方針（3）

Ⅱ．アルコール事業以外の事業

アルコール事業以外の事業については、保有する固定資産、知的資産及び人的資源や資金を有効に活用し、新規事業展開に向けた整備を進めます。

発酵副産物関連事業

- アルコール発酵工程から生じる副産物を有効活用した新製品を開発し、製造販売体制を構築します

アルコール関連商品事業

- 新たなニーズの発掘やアルコール需要拡大を目指し、アルコール使用商品を販売します

不動産関連事業

- 工場跡地等の保有資産の有効活用について検討を進め、不動産賃貸業等により安定した収益を確保します
- 閉鎖した千葉工場に関する活用策の検討を進めます

Ⅲ. 企業活力の向上

お客様満足度の向上

- お客様とのコミュニケーションを深め、得られた情報等を迅速に事業に反映します

コンプライアンス

- 健全な事業活動を遂行し、お客様、株主、社会から信頼される会社を目指します

環境問題への配慮

- ISO14001の適切な運用により環境負荷の低減を常に意識した事業活動を展開します

人材育成と組織の活性化

- 改革活動を推進し、意識改革と組織活性化を図り、常に改革・改善にチャレンジしていく風土を築き上げます

収支計画概要

平成20年度事業計画では、全社を挙げたコスト削減への取組みを行い、経営基盤の強化と競争力を高めることにより、損益目標を達成します。

(単位:百万円)

売上高	22,290
営業利益	209
営業外損失(△)	△ 91
経常利益	118

資金計画概要

(単位：百万円)

区 分	金 額	区 分	金 額
I. 資金収入		II. 資金支出	
1. 営業的収入	22,123	1. 営業的支出	21,435
(1) 営業収入	22,049	(1) 営業支出	21,435
(2) 営業外収入	74	(2) 営業外支出	0
2. 資本的収入	0	2. 資本的支出	739
(1) 借入金	0	(1) 設備投資	739
(2) 敷金戻入による収入	0	(2) 借入金返済	0
		(3) 敷金預入による支出	0
3. その他	897	3. その他	524
4. 前年度よりの繰越金	6,579	4. 翌年度への繰越金	6,901
計	29,599	計	29,599

(注)百万円未満切り捨て表示